

平成 29 年度 採用試験（推薦・総合選抜）

数学・理科試験問題 (理工学専攻)

(注意)

- 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
- マークセンスは【1】のみであり、【2】～【3-2】は記述式解答用紙へ解答すること。

(マークセンス注意) 【1】

- 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

※専攻区分記入要領

推薦採用試験：人文・社会科学専攻→推人	理工学専攻→推理
総合選抜採用試験：人文・社会科学専攻→総人	理工学専攻→総理

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川推理W1234の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番号
受験番号	神奈川	推理	W1234

※受験番号等のマークについて（女子受験者は、番号のWはマークしない。）

志願地本名	札幌：01	福島：10	専攻区分	番号			
	函館：02	茨城：11		理工	0	0	0
旭川：03	栃木：12	性別	1	1	1	1	
帯広：04	群馬：13	男	2	2	2	2	
青森：05	埼玉：14	女	3	3	3	3	
岩手：06	千葉：15		4	4	4	4	
宮城：07	東京：16		5	5	5	5	
秋田：08	神奈川：17		6	6	6	6	
山形：09	新潟：18		7	7	7	7	

- 問題文の□にあてはまるものを、問題文に続く選択肢 ⑧～⑪より選び、次の方法で解答用紙の解答欄にマークすること。あてはまるものが選択肢がないときは、解答欄に⑪をマークすること。

- 例 □アに⑧と解答する場合
□イにあてはまる選択肢がないとき

解答欄							
ア	●	b	c	d	e	f	g
イ	a	b	c	d	e	f	●

(記述式注意) 【2】～【3-2】

- 解答はすべて解答用紙の定められた枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。
- 解答用紙には、受験番号及び解答以外記入してはならない。

【1】 以下の **ア** ~ **オ** にあてはまるものを、問題文に続く選択肢 **a** ~ **f** より選び、解答欄にマークせよ。あてはまるものが選択肢にないときは、解答欄に **g** をマークせよ。

(1) 2次方程式 $13x^2 + 4x + 2 = 0$ の2つの解を α, β とするとき、 $\frac{1}{\alpha^3} + \frac{1}{\beta^3}$ の値は **ア** である。

- a** -47 **b** -31 **c** -5 **d** 5 **e** 31 **f** 47

(2) 自然数 n に対して、 $I_n = \int_0^1 x^n(1-x^2) dx$ とするとき、次の間に答えよ。

① I_1 の値は **イ** である。

- a** -2 **b** -1 **c** $-\frac{1}{2}$ **d** $-\frac{1}{4}$ **e** $\frac{1}{4}$ **f** $\frac{1}{2}$

② 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} I_n$ の和は **ウ** である。

- a** $\frac{1}{6}$ **b** $\frac{2}{5}$ **c** $\frac{1}{2}$ **d** $\frac{5}{6}$ **e** $\frac{3}{2}$ **f** 2

(3) 実数 t に対して、 $\vec{a} = (t, 2-t)$, $\vec{b} = (9-t, 3)$ とするとき、次の間に答えよ。

① 内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を最大にする t の値 t_0 は **エ** である。

- a** -2 **b** -1 **c** 0 **d** 1 **e** 2 **f** 3

② ①の t_0 に対して、 \vec{a} と \vec{b} のなす角 θ は **オ** である。

- a** 0 **b** $\frac{\pi}{6}$ **c** $\frac{\pi}{4}$ **d** $\frac{\pi}{3}$ **e** $\frac{2}{3}\pi$ **f** $\frac{3}{4}\pi$

【2】 以下の問いに答えよ。

(1) 次の文章を読み、①および②に答えよ。

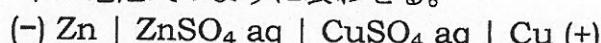
炭素は、周期表の14族に属する元素で、価電子数は（あ）である。炭素の同素体には、ダイヤモンドと黒鉛がある。ダイヤモンドでは、炭素原子のすべての価電子が（い）に使われ、正四面体を基本単位とする立体構造を形成している。黒鉛では、炭素原子の（う）個の価電子が（い）に使われ、平面構造を形成している。これらが（え）によって積み重なるため、薄くはがれやすく、軟らかい。

①（あ）、（う）に当てはまる適切な数値を記せ。

②（い）、（え）にあてはまる最も適切な語句を、下の（a）～（e）の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- (a) 共有結合 (b) イオン結合 (c) 金属結合 (d) 配位結合 (e) 分子間力

(2) ダニエル電池は、下の電池式のように表わせる。



次の①および②に答えよ。

①両極を導線で接続して放電するとき、負極で起こる変化を、電子 e^- を含むイオン反応式で記せ。

②下の（a）～（e）の金属の組み合わせで、ダニエル型の電池をつくった。この中で起電力が最も高くなる組み合わせを一つ選び、記号で答えよ。

- (a) ZnとAg (b) CuとAg (c) CuとZn (d) SnとZn (e) SnとCu

(3) 27 °C, 3.0×10^5 Paで7.0 Lを占めている理想気体がある。この気体を0 °C, 1.0×10^5 Paにしたときの体積は何Lになるか。有効数字2ヶタで答えよ。

(4) 次の文章を読み、①および②に答えよ。

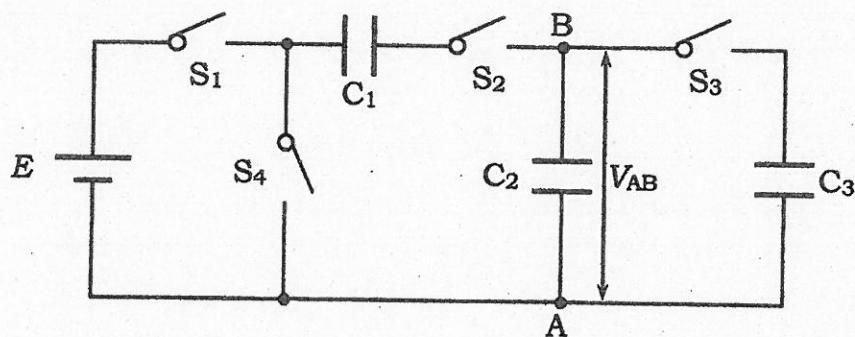
分子内にカルボキシル基をもつ化合物を総称して、カルボン酸という。カルボン酸は酸性を示し、硫酸よりも弱いが、（ア）よりも強い酸である。カルボン酸の中でも（イ）は、分子内にアルデヒド基の構造をもつて還元性があり、酸化剤と反応して（ウ）を発生する。また、分子内にカルボキシル基を2つもつ化合物を2価カルボン酸（ジカルボン酸）という。

①（ア）～（ウ）に当てはまる化合物名の組み合わせとして最も適切なものを、下の（a）～（f）の中から一つ選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|-----|--------|--------|-----------|
| (a) | ア : 塩酸 | イ : 酢酸 | ウ : 水素 |
| (b) | ア : 塩酸 | イ : ギ酸 | ウ : 二酸化炭素 |
| (c) | ア : 塩酸 | イ : ギ酸 | ウ : 水素 |
| (d) | ア : 炭酸 | イ : 酢酸 | ウ : 二酸化炭素 |
| (e) | ア : 炭酸 | イ : ギ酸 | ウ : 二酸化炭素 |
| (f) | ア : 炭酸 | イ : 酢酸 | ウ : 水素 |

②分子式 $C_4H_4O_4$ で示される2価カルボン酸 AとBがあり、これらは幾何異性体の関係にある。化合物Aを160 °Cに加熱すると、分子内で脱水反応が起きた。この化合物Aを構造式で記せ。

【3-1】 図のように、起電力 E [V]の電池、コンデンサー C_1, C_2, C_3 、スイッチ S_1, S_2, S_3, S_4 からなる回路がある。コンデンサー C_1, C_2 の電気容量はともに C [F]、コンデンサー C_3 の電気容量は $2C$ [F]である。初めの状態では、すべてのスイッチは開いており、すべてのコンデンサーには電荷は蓄えられていない。以下の問いに答えよ。



- (1) スイッチ S_1 とスイッチ S_2 を閉じる。じゅうぶん時間が経過した後、コンデンサー C_2 の極板間電圧 V_{AB} はいくらか。ただし、電圧 V_{AB} は点 A を基準とした 2 点 A, B の電位差とする。
- (2) (1) の状態からスイッチ S_1 とスイッチ S_2 を開き、スイッチ S_3 を閉じる。じゅうぶん時間が経過した後、電圧 V_{AB} はいくらになるか。
- (3) (2) の状態からスイッチ S_3 を開く。コンデンサー C_1 の電気量 Q_1 とコンデンサー C_2 の電気量 Q_2 はいくらか。ただし、コンデンサーの電気量は絶対値で表すこととする。
- (4) (3) の状態からスイッチ S_2 とスイッチ S_4 を閉じる。じゅうぶん時間が経過した後、電圧 V_{AB} はいくらになるか。
- (5) (4) の状態からスイッチ S_3 を閉じる。じゅうぶん時間が経過した後、電圧 V_{AB} はいくらになるか。

【3-2】 図のように、摩擦のない斜面と半円筒状の壁が滑らかにつながっている。半円筒の半径は r であり、半円筒の中心軸は点 O を通っている。

いま、地面（基準面）から高さ H ($H > r$) の点 A より、質量 m の小物体を静かに放す。この小物体は半円筒の半径 r と比較して無視できるほど小さい。小物体は、最下点の点 B （基準面）で半円筒に進入した後、半円筒の内壁に沿ってのぼって行き、内壁の途中で壁から離れて床に落下した。

小物体は摩擦や空気抵抗を受けないものとし、また重力加速度の大きさを g として以下の問い合わせに答えよ。ただし解答は、 m, H, r, g のうち必要な記号および数値を用いて表せ。

- (1) 点 A での小物体がもつ重力による位置エネルギーの大きさ U を求めよ。
- (2) 点 B を通過した直後の小物体の速度の大きさ v_B を求めよ。
- (3) 点 B を通過した直後に小物体が受ける遠心力の大きさ F_B を求めよ。
- (4) 点 B を通過した直後に小物体が内壁から受ける垂直抗力の大きさ N_B を求めよ。
- (5) 小物体が点 C から飛び出すためには、高さ H は半円筒の半径 r の最低何倍必要か。

